

科目名	インターンシップ3							年度	2026
英語科目名	Internship 3							学期	後期
学科・学年	ITスペシャリスト科 3年次	必/選	選	時間数	120	単位数	4	種別※	実習
担当教員	インターンシップ先担当者	教員の実務経験		有	実務経験の職種		IT関連職種		
【科目の目的】 IT業界は日々成長を繰り返しており、入学時に最新技術であったものが、卒業時点では陳腐化していることも起こる。そのため、自身の就きたい仕事について常にアップデートしながら必要となる追加技術を調べ、目標に向かって努力をしていく必要がある。本講義ではIT関連の展示会や講習会に参加して最先端のIT企業が提供しているサービスや製品について知り、自身の目標を更新していく。また、就職時に必要となるコミュニケーション能力についても企業様への質問を通して学んでいく。									
【科目の概要】 校外で実施されるITの展示会や講演会に参加し、最先端のIT企業ではどういったサービスや製品を提供しているのかを知り、自身の進路にフィードバックをする。また、展示会・講習会前には出展ブースや講演会の内容を調べ、疑問点などを資料にまとめることで効果的な研修とする。展示会・講習会後には自身が学んだ知識をまとめ、他人の前で発表することで情報の適切な伝え方についても学ぶ。									
【到達目標】 イベント参加前に、ブースの出展情報や説明を聞いてまわる順番、説明資料の疑問点について十分な検討を行い、資料化することができる。また、イベント参加時には企業様の説明をメモを取りながら聞き、疑問点に関しては相手に伝わるように質問することができる。また、これから社会人になる立場として適切な立居振舞ができる。最後に、イベント参加後にはイベントで得た情報を資料にまとめ、他人に説明することができる。									
【授業の注意点】 研修をより有意義なものとするため、積極的な参加姿勢(質問など)を重要視している。また、社会への移行を前提とした受講マナーで参加し、展示会・講習会中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は評価対象外とする。本科目は、授業時間外で実施する。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル3 優れている			レベル2 ふつう				レベル1 要努力	
到達目標 A	ブースの出展情報や説明を聞いてまわる順番、説明資料の疑問点について十分な検討を行い、わかりやすく資料化することができる			ブースの出展情報や説明を聞いてまわる順番、説明資料の疑問点について検討を行い、資料化することができる				ブースの出展情報や説明を聞いてまわる順番、説明資料の疑問点について検討を行わず、資料化することができない	
到達目標 B	イベント参加時に企業の説明をメモを取りながら聞き、疑問点に関して相手に伝わるように質問し、資料化に必要な情報を適切に得ることができる			イベント参加時に企業の説明をメモを取りながら聞き、疑問点に関して質問することができる				イベント参加時に企業の説明をメモを取らず、疑問点に関して相手に伝わるように質問することができない	
到達目標 C	社会人になる立場として適切な立居振舞が常にできる			社会人になる立場として適切な立居振舞が最低限できる				社会人になる立場として適切な立居振舞ができない	
到達目標 D	イベント参加後にイベントで得た情報を資料にまとめ、他人に分かりやすくかつ効果的に説明することができる			イベント参加後にイベントで得た情報を資料にまとめ、他人に説明することができる				イベント参加後にイベントで得た情報を資料にまとめ、他人に説明することができない	
到達目標 E									
【教科書】 資料を配布する									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 授業内容の理解度、実施内容について評価する。積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		インターンシップ3			年度	2026
英語表記		Internship 3			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	インターンシップ参加(1)	会社概要、就業規則及び情報セキュリティの説明、実習の内容などを理解する	1 企業研究	会社概要と就業規則を理解する	3	
			2 情報セキュリティ	就業時の情報の取扱い方とリスクについて理解する		
			3 業務内容	インターンシップで行う業務内容を理解する		
2	インターンシップ参加(2)	他の参加学生と交流しながらグループワーク中心に実習を体験し、協調性などを身に付ける	1 業務理解	就業体験を通してITエンジニアの仕事を理解する	3	
			2 グループワーク	業務体験を通して協調性の重要性を学ぶ		
3	インターンシップ参加(3)	他の参加学生と交流しながらグループワーク中心に実習を体験し、協調性などを身に付ける	1 業務理解	就業体験を通してITエンジニアの仕事を理解する	3	
			2 グループワーク	業務体験を通して協調性の重要性を学ぶ		
4	インターンシップ参加(4)	他の参加学生と交流しながらグループワーク中心に実習を体験し、協調性などを身に付ける	1 業務理解	就業体験を通してITエンジニアの仕事を理解する	3	
			2 グループワーク	業務体験を通して協調性の重要性を学ぶ		
5	インターンシップ参加(5)	他の参加学生と交流しながらグループワーク中心に実習を体験し、協調性などを身に付ける	1 業務理解	就業体験を通してITエンジニアの仕事を理解する	3	
			2 グループワーク	業務体験を通して協調性の重要性を学ぶ		
6	インターンシップ参加(6)	他の参加学生と交流しながらグループワーク中心に実習を体験し、協調性などを身に付ける	1 業務理解	就業体験を通してITエンジニアの仕事を理解する	3	
			2 グループワーク	業務体験を通して協調性の重要性を学ぶ		
7	インターンシップ参加(7)	他の参加学生と交流しながらグループワーク中心に実習を体験し、協調性などを身に付ける	1 業務理解	就業体験を通してITエンジニアの仕事を理解する	3	
			2 グループワーク	業務体験を通して協調性の重要性を学ぶ		
8	インターンシップ参加(8)	他の参加学生と交流しながらグループワーク中心に実習を体験し、協調性などを身に付ける	1 業務理解	就業体験を通してITエンジニアの仕事を理解する	3	
			2 グループワーク	業務体験を通して協調性の重要性を学ぶ		
9	インターンシップ参加(9)	他の参加学生と交流しながらグループワーク中心に実習を体験し、協調性などを身に付ける	1 業務理解	就業体験を通してITエンジニアの仕事を理解する	3	
			2 グループワーク	業務体験を通して協調性の重要性を学ぶ		
10	インターンシップ参加(10)	他の参加学生と交流しながらグループワーク中心に実習を体験し、協調性などを身に付ける	1 業務理解	就業体験を通してITエンジニアの仕事を理解する	3	
			2 グループワーク	業務体験を通して協調性の重要性を学ぶ		
11	インターンシップ参加(11)	他の参加学生と交流しながらグループワーク中心に実習を体験し、協調性などを身に付ける	1 業務理解	就業体験を通してITエンジニアの仕事を理解する	3	
			2 グループワーク	業務体験を通して協調性の重要性を学ぶ		
12	インターンシップ参加(12)	他の参加学生と交流しながらグループワーク中心に実習を体験し、協調性などを身に付ける	1 業務理解	就業体験を通してITエンジニアの仕事を理解する	3	
			2 グループワーク	業務体験を通して協調性の重要性を学ぶ		
13	インターンシップ参加(13)	他の参加学生と交流しながらグループワーク中心に実習を体験し、協調性などを身に付ける	1 業務理解	就業体験を通してITエンジニアの仕事を理解する	3	
			2 グループワーク	業務体験を通して協調性の重要性を学ぶ		
14	インターンシップ参加(14)	他の参加学生と交流しながらグループワーク中心に実習を体験し、協調性などを身に付ける	1 業務理解	就業体験を通してITエンジニアの仕事を理解する	3	
			2 グループワーク	業務体験を通して協調性の重要性を学ぶ		
15	成果報告会の実施	各企業で成果報告会の実施、報告書の作成などを実施する	1 報告書の準備	発表することを念頭に適切に文書をまとめる	3	
			2 報告書の発表	活動内容を分かりやすく報告する		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等